

## 福島第一原子力発電所の20Km以遠のモニタリング結果について

平成23年3月30日 13時00分現在  
文 部 科 学 省

### ○文部科学省が集計した結果

- \* 1 GM(ガイガー=ミューラー計測管)における値
- \* 2 電離箱における値
- \* 3 NaI(ヨウ化ナトリウム)シンチレータにおける値
- \* 4 測定時間内における測定値の変動範囲

場所(福島第1発電所からの距離)	測定日時	数値(マイクロシーベルト/時) (記載のない限り屋外)	天候	実施者
測定エリア【1】 (約60Km北西)	3月30日8時53分	0.3	降雨無し	日本原子力研究開発機構
測定エリア【2】 (約55Km北西)	3月30日9時23分	4.0 *2	降雨無し	日本原子力研究開発機構
測定エリア【3】 (約45Km北西)	3月30日9時50分	4.6 *2	降雨無し	日本原子力研究開発機構
測定エリア【5】 (約45Km北)	3月30日10時21分	1.0 *2	降雨無し	日本原子力研究開発機構
測定エリア【10】 (約40Km北西)	3月30日10時7分	0.8 *2	降雨無し	文部科学省
測定エリア【11】 (約40Km北西)	3月30日10時22分	1.1 *2	降雨無し	文部科学省
測定エリア【12】 (約40Km西)	3月30日11時44分	0.2 *2	降雨無し	文部科学省
測定エリア【20】 (約45Km北西)	3月30日10時49分	0.7 *2	降雨無し	文部科学省
測定エリア【21】 (約30Km西北西)	3月30日11時16分	4.6 *2	降雨無し	文部科学省
測定エリア【22】 (約30Km西北西)	3月30日11時6分	0.7 *2	降雨無し	文部科学省

- \* 1 GM(ガイガー=ミュラー計測管)における値
- \* 2 電離箱における値
- \* 3 NaI(ヨウ化ナトリウム)シンチレータにおける値
- \* 4 測定時間内における測定値の変動範囲

場所(福島第1発電所からの距離)	測定日時	数値(マイクロシーベルト/時) (記載のない限り屋外)	天候	実施者
測定エリア【23】(約30Km西北西)	3月30日10時58分	0.8 *2	降雨無し	文部科学省
測定エリア【80】(約25Km北)	3月30日11時9分 ~11時39分	0.0 *2*4	降雨無し	日本原子力研究開発機構
測定エリア【85】(約60km北西)	3月30日6時00分	0.4 *2	降雨無し	防衛省
測定エリア【86】(約55km西)	3月30日6時00分	1.3 *2	降雨無し	防衛省
測定エリア【87】(約30km西南西)	3月30日6時00分	1.3 *2	降雨無し	防衛省

# 福島第一原子力発電所周辺のモニタリング結果



測定日時  
 3月30日  
 6時00分～12時00分

●測定箇所

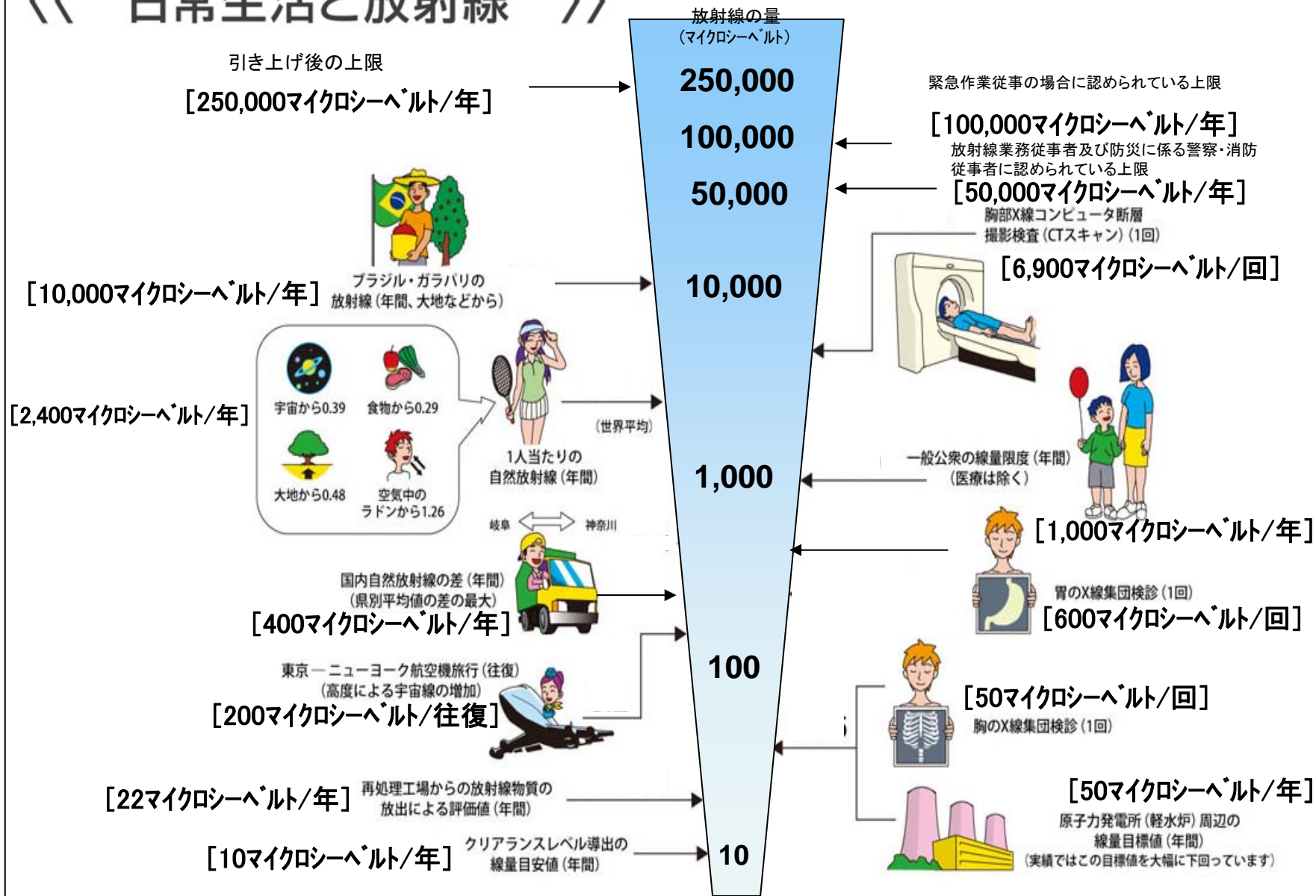
単位:マイクロシーベルト毎時

## 屋内退避及び避難等に関する指標

予測線量 (単位: $\mu\text{Sv}$ )		防護対策の内容
外部被ばくによる実効線量	内部被ばくによる等価線量 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 放射性ヨウ素による小児甲状腺の等価線量</li> <li>・ ウランによる骨表面又は肺の等価線量</li> <li>・ プルトニウムによる骨表面又は肺の等価線量</li> </ul>	
10,000～ 50,000	100,000～ 500,000	住民は、自宅等の屋内へ退避すること。その際、窓等を閉め気密性に配慮すること。 ただし、施設から直接放出される中性子線又はガンマ線の放出に対しては、指示があれば、コンクリート建家に退避するか、又は避難すること。
50,000 以上	500,000 以上	住民は、指示に従いコンクリート建家の屋内に退避するか、又は避難すること。

「原子力施設等の防災対策について」(昭和 55 年 6 月 30 日原子力安全委員会決定 (最終改訂 平成 22 年 8 月 24 日)) より

# 《 日常生活と放射線 》



※ Sv【シーベルト】=放射線の種類による生物効果の定数(※) × Gy【グレイ】 ※ X線、γ線では 1